

## 令和2年度乳幼児期手話言語獲得ネットワークで頂いたご意見

## 【頂いたご意見】

療育機関

- ・こめっこの研究プロジェクトを通じて、エビデンスが構築されることを期待している。
- ・最近、手話に対して好意的な保護者が増えており、こめっこともよりよいネットワークを構築できていると思う。

学校

- ・保護者の方が何を求めているのかが大切で、手話か音声言語ではなく、子育て全般で悩みを持たれている。そういった保護者の想いを大切に支援の環境づくりをしていくことが必要。

関係団体

- ・手話言語条例シンポジウム動画をみて、言語としての手話を使うメリットが自分の中で整理されつつある。



- ・関係機関からも、研究プロジェクトに対する期待や手話に対する意識変化等の好意的なご意見をいただき、手話言語条例施策推進に対して協力を得られる体制ができつつある。
- ・府として、聴覚障がい児に対して、どれだけ支援の選択肢を準備できるかが重要で、手話か口話ではなく、両方の支援体制を構築していくことが重要。